

まちスポ神戸ふれあいまつり in BRANCH 事業報告

- 【日 時】 2014年11月14日(金)～15日(土) 10:00～15:00
 【会 場】 BRANCH神戸学園都市 森の広場、コミュニティルームほか
 【主 催】 まちスポ神戸ふれあいまつり in BRANCH 実行委員会
 【共 催】 BRANCH 神戸学園都市
 【後 援】 垂水区役所
 【協 力】 兵庫県立大学経済学部 野津研究室 兵庫県立大学経営学部 當間研究室
 流通科学大学幼児ボランティア部 ALL-IN
 【参加人数】 14日(金)のべ982名
 15日(土)のべ3649名 合計のべ参加者4,631名
 【丹波地域募金】 3,812円

■事業目的

- (1) 登録団体同士の横の連携 (2) 登録団体の活動活性化
 (3) 参加者同士の交流による新たなコミュニティの創出
 (4) まちスポ神戸の周知と新たな地域活動者の獲得

■役員会・実行委員会の実施

第1回役員会 7月29日(火)	第1回実行委員会開催に向けての打合せ
第1回実行委員会 8月8日(金)	趣旨説明・委員長、副委員長、会計の選出、参加意向確認等
第2回役員会 8月26日(火)	スケジュール、会場レイアウト、フリーマーケット、託児についての検討
第2回実行委員会 8月29日(金)	参加一覧の確認、会場レイアウト、名称決定、フリーマーケットについて、担当者について、展示パネル作成(団体ポスター)について 丹波地域への募金活動について
第3回役員会 9月11日(木)	登録団体参加状況について、フリマについて 会場レイアウトならびに準備物、雨天時の対応、後援依頼について チラシ(案)、ステージ参加者、司会進行
第3回実行委員会 9月22日(金)	全体プログラム、会場レイアウト、雨天時、ステージイベント、フリマ、スタンプラリー(BRANCH探検隊)
第4回実行委員会 10月27日(月)	全体プログラム・ステージイベントプログラムの確認、まちスポマップ 備品数量の確認、当日の担当責任者、前日準備について、搬出 ほか
前日準備 11月13日(木)	テント、登録団体紹介コーナー、机・イスの搬入、ブースレイアウト、サイン設置、パネル貼付、ゆるキャラ借り受け等

■参加者・参加団体

ブース等

まちスポ神戸登録団体 25 団体

国際協力団体 kumae(兵庫県立大学)

ゆるきゃら運営

兵庫県立大学経済学部 野津研究室

アンケート

兵庫県立大学経営学部 當間研究室

PR コーナー

神戸市立外国語大学ボランティアサークル BOOKS FOR JAPAN

BRANCH 探検隊 (スタンプラリー)

流通科学大学幼児ボランティアサークル ALL-IN (バルーンアート協力)

スタンプラリーサポーターチーム (垂水区、西区、須磨区)

※近隣子育て中のママで企画運営、15日は子どもサポーターも参加

スタンプラリー カードデザイン イラストレーター 小林さやかさん

まちスポらんらん♪フリーマーケット

出店者 14日 7団体 15日 7団体 (うち両日出店2団体)

(垂水区6、須磨区1、西区4、北区 1)

ステージ (15日)

MC 兵庫県立大経済学部 4回生 長谷川しおりさん (高砂市)

あそび歌ユニットかば☆うま 馬賣真人さん・和田武蔵さん (須磨区、東灘区)

出演者

ごしまろ絵描き歌 佐々木和己さん (垂水区)

Babyダンス ひだまりだっこ (西区)

ウクレレリトミック Ruhe (垂水区ほか)

Mahina Nani Hula Club (須磨区)

リズム戦隊ママレンジャー (垂水区)

Kidsダンス FIRST STEP (垂水区、長田区)

アコースティックデュオ「睡蓮」(三木市)

あそび歌ユニットかば☆うま (須磨区、東灘区)

兵庫県立大ダンス部 INFINITHY (西区ほか)

■撮影協力 プロカメラマン 嶽 千華さん

【成 果】

- 想定以上の来場者を迎えることが出来た（ネット、口コミ、サポーターによるポスティング等）
- まちスポ神戸および登録団体を知っていただく機会となった
- 登録会員同士の交流が深まった
- 登録会員の主体的な活動が、活発になった
- 達成感を共有できた（実行委員会、出演者、サポーター、事務局）
（みんなが喜んでくれた。まつりに関わられて嬉しかった。出店して楽しかった。など多くの声）
- 登録会員の年代がさまざまで多世代交流の場となった
（ワークショップに参加される方のお子さんを隣のブースの会員が子守を引き受けるなど、出店者と来場者との交流の場面が多々あった）
- 新たなサポーターが参画、活躍（子どももお手伝い）
- ステージ出演者など、新たなネットワークが広がった
- ごしきまろ絵描き歌のお披露目が出来た
- 大学生の参加により、高校生・大学生の来場があった
- 他地域からの来場者も多く見られた（特に、北区）
- ブース配置やスタンプラリーでくまなく BRANCH 内をまわってもらえた
- スタンプラリーで必ず、まちスポに寄るので、まちスポの場所を知ってもらえた
- ステージが、鑑賞だけではなく参加型だったので、一体感があるものになった
- すべてのプログラムはオンタイムで、スムーズに進行
- ケガ、事故なく無事に終えることができた
- 地域住民、企業、NPO との協働であたたかな雰囲気のみまつりとなった

【反省点・課題】

- ステージ出演者、フリーマーケット出店者の決定時期が遅くチラシに詳細紹介が出来なかった
広報面での出遅れの原因ともなった
- ステージイベント、コミュニティルームのワークショップ、移動紙芝居、フードコートでの演奏など、時間が重なり“お客の取り合い”現象がおこった。タイムスケジュールの組み方が難しかった
- スタンプラリーの用紙に簡単なまちスポの紹介やまつりの趣旨をいれてもよかった。
- 想定以上の来場で、道路や駐車場が混雑
（交通渋滞のため、到着が遅れ、目的のイベントに参加できなかったという声も聞いた）
- 団体紹介パネル展示の裏面が目立たず、あまり見ていただけなかった